

# 健康経営 2020年度の取り組み

## 実績と課題

鳴海製陶株式会社

	具体項目	2020年度の取組状況	実績	見えてきた課題
1	一人一人の健康面の課題を把握し改善を促すため、定期健康診断の受診率100%を目指す	指定期間内に全従業員が定期健康診断を受診	受診率 100%	出張等で予定通りに定期健康診断が受けられなかった人への速やかな対応
2	扶養家族の特定健康診断の受診率向上に努める	受診しやすいよう医療機関への予約は健保が代行し、受診期間をこれまでの5か月間から6か月間に延長	受診率 58%	受診したくない人への動機付け

	具体項目	2020年度の取組状況	実績	見えてきた課題
1	有所見者に対し二次健診の受診奨励を積極的におこなう	新型コロナウイルスの流行により積極的な受診勧奨は取りやめた	1名	医療機関における感染予防対応について従業員に理解してもらおう

	具体項目	2020年度の取組状況	実績	見えてきた課題
1	従業員向けに健康情報を発信	毎月実施している安全衛生委員会で、健康関係の情報を発信。 安全衛生委員会資料は全員が閲覧可能。	毎月1回	安全衛生委員会を経由しない方法
2	社内研修の機会を利用して健康向上教育を実施する	毎年実施しているハラスメント研修の中でメンタルヘルスを説明	12月実施	メンタルヘルスに限らない情報の発信

	具体項目	2020年度の取組状況	実績	見えてきた課題
1	高ストレス者の早期発見	全従業員に対しストレスチェック実施	11月実施	メンタル不調になる前の職制の気づき
2	ストレス軽減措置の実施	・高ストレス職場に対して職制指導 ・全従業員を対象にハラスメント防止研修実施	適宜 12月実施	メンタル不調になる前の職制の気づき

具体項目	2020年度の取組状況	実績	見えてきた課題
1 労働時間の正確な把握	ICカードによる時間管理	導入率99%	事業所外就労者の時間管理
2 長時間労働抑制対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残業は事前申請制</li> <li>・月当たりの時間外労働を30時間・45時間・60時間・70時間・80時間以上の区分に分けて管理。</li> <li>・30時間以上の超過者は安全衛生委員会で確認し45時間以上は職制を指導</li> </ul>	<p>対象203名中  80時間超過:1回/年  60時間超過:1回/年  45時間超過:21回/年</p> <p>一人当たりの平均残業時間：6時間/月</p>	繁忙期集中の分散化

	具体項目	2020年度の取組状況	実績	見えてきた課題
1	働きやすい職場や制度の整備	<ul style="list-style-type: none"><li>①「フレックスタイム制度」を、コアタイムの無い完全フレックスに変更</li><li>②「在宅勤務制度」を整備</li><li>③「子の看護休暇」「介護休暇」を無給から有給に変更</li></ul>	2020年12月に従業員説明  運用は2021年1月から	フレックス勤務ができない生産部門の対応

具体項目	2020年度の取組状況	実績	見えてきた課題
1 従業員同士のコミュニケーションを活性化させるため、職場活性化行事を積極的に支援	①職場活性化行事は飲食を伴うため、コロナ禍で中止した ②地域貢献のためコロナ感染症が落ち着いた時期、本社の全従業員が協力し、にナルミ製品即売会を実施した	延期          10月に実施	飲食を伴わない職場活性化行事



具体項目	2020年度の取組状況	実績	見えてきた課題
1 特定保健指導への協力	ケーシップが実施する「プチっと健康セミナー」への参加要請を会社がおこなう	5名参加	就業時間内での参加で実施率改善
2 運動機会の促進	①ラジオ体操を構内放送(各拠点はCD)で流して実施を促す ②テニス同好会への補助	①営業日に放送 ②活動自粛	参加者が一部の人に留まっている
3 従業員への感染症予防	①保険者と共同でインフルエンザ予防接種を職域で実施 ②各職場の入口や食堂にアルコール消毒液を設置し、出勤時には体温測定と自己申告による健康チェックを実施	①229名接種 ②15か所以上設置	

取り組み	内 容
1 半日有給休暇	有給休暇を午前と午後とに区切って半日単位で取得できる制度
2 積立有休休暇	2年の消滅時効が到来した有休休暇を、消滅させるのではなく、30日まで別に積立て、病気療養や介護等の決められた目的に対して利用できる制度
3 育児短時間勤務	子が小学校3年生の4月まで就業時間を1時間(3歳未満の場合は2時間)短縮できる制度
4 介護短時間勤務	対象家族1人あたり3年間で2回まで、2時間、就業時間を短縮できる制度